

人文社会科学部 博士前期課程 国際日本アジア専攻

養成人材

日本研究とアジア研究における文化面とビジネス面の教育研究を二つの柱とし、日本とアジアの文化、歴史、経済社会、ビジネスなどを総合的に踏まえて活躍できるビジネス・リーダー、文化的リーダーの育成を教育研究上の目的とする。特に、外国人留学生については、日本とアジアの事情を深く理解し、国際的視点による日本とアジアの研究を通して、アジアと世界の知的リーダーとなる人材の育成を教育研究上の目的とする。

学位授与の方針

人文学・社会科学の幅広い研究を基礎とし、知識基盤社会の知的担い手となる高度専門職業人、修士の学位を持つ社会人、日本・アジアの視点を軸にグローバルに活躍しうる人材を育成するため、所定の教育課程を修め、専攻ごとに求める以下の能力を身につけた者に修士の学位を授与する。

〈国際日本アジア専攻〉

日本アジア文化コース

- (1) 日本とアジアに関する人文学を中心とする学識
- (2) 国際的な視野から文化・歴史・社会を洞察できる能力

日本アジア経済経営コース

- (1) 日本とアジアの文化・歴史・社会に関する学識
- (2) 経済・経営・行政についての理論的・実証的な分析能力

教育目標

- 1 人文社会科学に関わる広い知見を修得する
- 2 人文社会科学に関わる基礎的な知識を修得する
- 3 人文社会科学に関わる基礎的な知識を修得と、それを応用・総合する能力を修得する
- 4 課題設定・自己解決能力および独創的な思考力を修得する

年次	科目	到達目標	教育目標 1	教育目標 2	教育目標 3	教育目標 4
1, 2	English Skills I	1.To understand the basic knowledge about the foundation of communication in English 2.To express own opinions at academic settings and to perform facilitation skill at group discussion 3.To perform their understanding on how to manage classrooms or small seminars in English	◎			
1, 2	English Skills II	1.To understand essays as a part of academic writing that includes the knowledge about rhetorical terminologies and plagiarism 2.To understand different types of essays and its structures and functions 3.To perform your understanding by producing good essays, participating in discussion and making presentations	◎			
1, 2	異文化コミュニケーションワークショップ	Students are expected to apply basic theories and concepts to hands-on intercultural activities	◎			
1, 2	視覚文化と社会	見ることの役割を自覚し自らの研究に生かす	◎			
1, 2	ジェンダー／セクシュアリティと社会	ジェンダー論、セクシュアリティ論がなぜ必要とされ、どのように発展してきたのか、90年代以降のクィア理論も射程に入れ、それらの理論とその社会的意義について理解できるようになる。 また、それらの理論を応用して、多くの要素が複雑に交差した実際の社会的事象（時事問題等）を分析し、課題を説明できるようになる。	◎			
1, 2	文献資料調査実習 I	線装本（和装本、和本、漢籍）の書誌調査のスキルがある程度身につける。 更に進んで、その典籍のより深い探究が出来るようになる基礎知識を得る。	◎			
1, 2	文献資料調査実習 II	線装本（和装本、和本、漢籍）の書誌調査のスキルがある程度身につける。 更に進んで、その典籍のより深い探究が出来るようになる基礎知識を得る。	◎			
1, 2	English Presentation and Negotiation	This course is designed for students: 1. to understand what is needed for a better presentation/negotiation; 2. to understand the differences in persuasive communication style in Japanese and English; and 3. to get used to English communication.	◎			
1, 2	日本語運用演習	・論文の書き方に関するスキルを身に付け、自分の研究テーマについて日本語で論文を書けるようになる。 ・自分の研究内容を他人に伝え、発表することができるようになる。	◎			
1	日本近現代文学研究法	日本近現代文学（小説）研究の諸相を学ぶ。		◎		
1	東アジア思想研究基礎	東アジアの思想文化を理解するための基礎知識を修得する。		◎		
1	中国近現代文化論研究基礎	艾未未の芸術活動を通じて、文化大革命以降の中国現代文化の流れを把握する。現代アートの持つ社会批判性を理解する。		◎		
1	日本史研究基礎 I	日本近代史に関する高度な研究発表が出来るようになる。				
1	日本史研究基礎 II	日本近世史研究の基礎となる古典籍の取り扱い能力を身につけ、資料の内容を把握する能力(古文書判読力を含む)を錬成する。		◎		
1	東洋史研究基礎	中国近現代史・日中関係史に関する文献の読解能力および理解力を身につける。		◎		

1	Japanese Material Culture	This course aims to introduce students to material culture studies and develop their comprehension of its core theoretical texts. Through a series of weekly readings, the class will examine key approaches to the understanding and analysis of material and visual culture in Japan. Students will gain a working knowledge of the subject through the application of material culture theory to relevant case studies. Through dedicated research tasks, the course will also introduce students to various experimental methodologies that can be used in the analysis of material culture (such as visual methodologies and autoethnographic fieldwork).		◎			
1	Museum Studies	This course considers how museums reveal the social and cultural ideologies of those who build, pay for, work in, and visit them. We will study the ways in which history is (and has been) constructed by museum acquisitions, exhibitions, and installation. We will also consider the ways in which museums are constructed by history by looking at the world-wide boom in museum architecture, and by examining curatorial practice and exhibition strategies as they affect war-related museums and exhibitions in particular. We will analyze the relationship between the cultural and social contexts of viewer and object, the nature of the translation of languages or aesthetic discourse, and the diverse ways in which museum exhibitions are understood as the materialization of modes of experience and communication.		◎			
1	Japan and the Asia Pacific War	The primary purpose of this course is to examine the origins and conduct of Japan's drive to create a New Order both at home and abroad in East Asia during the 1930s and 1940s.		◎			
1	The Traditional Performing Arts in Japan	The course aim at enabling the students to critically discuss and analyze various genres of performing arts from a cultural and historical perspective, and formulate their own research initiatives into an academic paper.		◎			
1	韓国文化研究法	韓国の言語文化の歴史的展開に対する概説的理解ができ、漢字文化圏のなかにある韓国と日本の言語文化上の共通点と相違点などが理解でき、グローバルな視点を得ることを到達目標とする。		◎			
1	Urban Geography of Japan	This course has three major objectives: 1) Providing basic knowledge about the history of cities and their development in Japan. 2) Learning about factors that drive urbanization and the different forms of cities they create. 3) Learning about the major characteristics of Japanese cities.		◎			
1	Regional Geography of Japan	The major objective of this course is to become familiar with and to deepen one's knowledge about regional differences in Japan.		◎			
1,2	ミュージアム・インターンシップ I	美術館の担当学芸員の指導のもと、美術館の実際の業務に参加し、現場での諸問題に対応する実践力を養うとともに、鑑賞指導や美術館の積極的活用など、芸術文化施設の現代的役割について学ぶ。			◎		
1,2	ミュージアム・インターンシップ II	美術館の担当学芸員の指導のもと、美術館の実際の業務に参加し、現場での諸問題に対応する実践力を養うとともに、鑑賞指導や美術館の積極的活用など、芸術文化施設の現代的役割について学ぶ。			◎		
1,2	シアター・インターンシップ	インターンシップの現場で、「文化」が社会で「生産・流通・消費」されていくプロセスの実務を体験し、文化研究のための理解を多面化し深化させることが目的となります。			◎		
1,2	埋蔵文化財インターンシップ	考古学の専門技術を身につける			◎		
1,2	国際協力インターンシップ	国際開発・国際協力分野の諸問題を、実際のJICAの事務所で仕事を通じて理解する。			◎		
1,2	特別インターンシップ I	人文社会科学に関わる基礎的な知識を修得と、それを応用・総合する能力を修得する 課題設定・自己解決能力および独創的な思考力を修得する			◎	○	
1,2	特別インターンシップ II	人文社会科学に関わる基礎的な知識を修得と、それを応用・総合する能力を修得する 課題設定・自己解決能力および独創的な思考力を修得する			◎	○	
1,2	地域振興論	埼玉県の自治体で街作りに関わる人の体験談を聞き、地域振興の問題を理解する			◎	○	
1,2	ミュージアム・エデュケーション	博物館（おもに美術館）教育活動の事例を知り、プログラムを作成することを通して、教育普及マインドを持った学芸員となる資質を養う。			◎	○	

1, 2	アートと社会	・彩の国さいたま芸術劇場、富士見市の文化会館キラリ☆ふじみ、草加市文化会館など、埼玉県下の公立の芸術文化事業や施設の運営について、その概略を理解し、説明できること。 ・公的な芸術文化事業が社会のなかで果たしている役割の現状と課題について、具体的な事例をふまえた独自の考察ができること。			◎	○
1, 2	日本近現代文学 I	日本近現代文学（小説）研究の諸相を学ぶ。			◎	○
1, 2	日本近現代文学 II	現代の様々な研究方法をふまえて、おもに日本近現代文学の課題、作品について、研究発表をおこなうことができる。			◎	○
1, 2	日本近現代文学 III	現代の様々な研究方法をふまえて、おもに日本近現代文学の課題、作品について、研究発表をおこなうことができる。			◎	○
1, 2	日本近代文学資料の探索と処理	日本近代文学資料の探索と処理について、基本的な知識とスキルを習得する。			◎	○
1, 2	日本近世文学演習 I	履修登録者が近世期の文学や演劇、浮世絵、さまざまな携帯のメディアの解説や分析方法を学ぶこと。			◎	○
1, 2	日本近世文学演習 II	受講生が各自の文章分担を担当し、作品が反映する文学的典拠と歴史的事情について考察しながら注釈を加える。			◎	○
1, 2	日本近世文学演習 III	日本近世文学を解説する方法を学ぶ。			◎	○
1, 2	日本近世文学演習 IV	受講生が各自の文章分担を担当し、作品が反映する文学的典拠と歴史的事情について考察しながら注釈を加える。			◎	○
1, 2	Seminar in Japanese Literature and Theatre I	The course aim at enabling the students to critically discuss and analyze various genres of performing arts from a cultural and historical perspective, and formulate their own research initiatives into an academic paper.			◎	○
1, 2	Seminar in Japanese Literature and Theatre II	The aim of this course is to train the techniques of analyzing early modern Japanese literature to develop skill necessary for academic research and writing.			◎	○
1, 2	Seminar in Japanese Literature and Theatre III	The students will learn how to academically read and analyze fiction from the Early Modern Period, by focusing on the works of Ihara Saikaku, his sources and the development of the popular print media.			◎	○
1, 2	Seminar in Japanese Literature and Theatre IV	The students will learn how to academically read and analyze classical Japanese poetry, focusing on female writers from the Heian to Meiji periods.			◎	○
1, 2	日本語学 I	本格的な日本語研究が行えるようになることを目指して、以下の力の育成を図る。 ・日本語学の論文を正確かつ批判的に読むことができるようになる。 ・自分で考えたことを、筋道をたてて、根拠とともに、分かりやすく説明することができるようになる。 ・論文の精読を通して、日本語学の諸分野についての知識を広げる。			◎	○
1, 2	日本語学 II	・日本語に関する問題意識や気づきを、研究課題として具体化・明確化することができる。 ・設定した研究課題にアプローチするための適切な方法を考え、それを実施することができる。			◎	○
1, 2	日本語語用論 I	語用論の一般理論と日本語を対象とした語用論の研究について知り、その知識を日本語教育やその他の学際的な研究に活かせるようにすること。			◎	○
1, 2	日本語語用論 II	語用論の一般理論と日本語を対象とした語用論の研究について知り、その知識を日本語教育やその他の学際的な研究に活かせるようにすること。			◎	○
1, 2	日本語語用論 III	語用論の一般理論と日本語を対象とした語用論の研究について知り、その知識を日本語教育やその他の学際的な研究に活かせるようにすること。			◎	○
1, 2	日本社会史 I	日本近代史に関する高度な研究発表が出来るようになる。			◎	○
1, 2	日本社会史 II	日本近代史に関する高度な研究発表が出来るようになる。			◎	○
1, 2	日本社会史 III	日本近代史に関する高度な研究発表が出来るようになる。			◎	○
1, 2	日本近世史 I	近年の研究動向を踏まえ、一次史料を読解した独自性の高い修士論文構成力を錬磨する。			◎	○
1, 2	日本近世史 II	近年の研究動向を踏まえ、一次史料を読解した独自性の高い修士論文構成力を錬磨する。			◎	○
1, 2	日本近世史 III	一次史料を読解する高い能力を身につけ、それを踏まえた独自性の高い修士論文構成力を錬磨する。			◎	○
1, 2	日本近代史 I	本授業は日本近代史に関する古典的な研究書や話題作を読みながら、日本近代史の学問的展開を考察していくことを目標とする。それぞれの歴史家の問題意識にどのような思想があり、彼らは何を調べ、何の史料を使い、どのような分析方法に基づいて歴史を書いてきたのか。そしてどういう議論や論争が起こってきたのか。これらの課題を通して院生の日本近代史の知識を深め、歴史研究者としての基礎知識と分析力を高めることをも目指す。			◎	○
1, 2	日本近代史 II	この授業は昭和初期政治思想史における様々な問題を一次史料によって検討することを目標とする。履修者はこの経験によって歴史研究者として分析力を高め、修士論文の研究をより進めることが期待できる。			◎	○

1,2	Topics in Japanese Studies I	<p>Primary goals of this course are as follows: (1) Students are expected to understand the multifaceted status (e.g. social, cultural and geopolitical contexts) of musical theater in Japan from the comparative perspective. (2) Students are required to develop their skills of critical thinking in an academic environment, using English as means of communication in reading, listening, writing and talking about topics and works in the course.</p>			◎	○	
1,2	Topics in Japanese Studies II	<p>Primary goals of this course are as follows: (1) Students are expected to understand the multifaceted status (e.g. social, cultural and geopolitical contexts) of musical theater in Japan from the comparative perspective. (2) Students are required to develop their skills of critical thinking in an academic environment, using English as means of communication in reading, listening, writing and talking about topics and works in the course.</p> <p>Please also consider the following factors, especially (4): (3) How well you reached the two goals (above) in your performances in the discussions/on the essays. (4) How well you kept the amount of your effort for this course reasonable (=you felt not too much hard) in your situation.</p>			◎	○	
1,2	Colloquium in Pre-modern Japanese History	<p>A principal objective of the course is to teach students to think critically for themselves about the relationships between the past and the present, to learn to ask questions of the past that enable them to understand the present and mold the future, and to become attuned to both the limitations and possibilities of change. The course seeks to acquaint students with the ways in which past societies and peoples have defined the relationships between community and individual needs and goals, and between ethical norms and decision-making.</p> <p>In general students will be expected to:</p> <ul style="list-style-type: none"> * read a wide range of secondary sources critically. * polish skills in critical thinking, including the ability to recognize the difference between opinion and evidence, and the ability to evaluate—and support or refute—arguments effectively. * write stylistically appropriate and mature papers and essays using processes that include discovering ideas and evidence, organizing that material, and revising, editing, and polishing the finished papers. 			◎		
1,2	Seminar in Pre-modern Japanese History	<p>A principal objective of the course is to teach students to think critically for themselves about the relationships between the past and the present, to learn to ask questions of the past that enable them to understand the present and mold the future, and to become attuned to both the limitations and possibilities of change. The course seeks to acquaint students with the ways in which past societies and peoples have defined the relationships between community and individual needs and goals, and between ethical norms and decision-making.</p> <p>In general students will be expected to:</p> <ul style="list-style-type: none"> * Identify and read a wide range of primary and secondary sources critically. * Polish skills in critical thinking, including the ability to recognize the difference between opinion and evidence, and the ability to evaluate—and support or refute—arguments effectively. * Write stylistically appropriate and mature papers and essays using processes that include discovering ideas and evidence, organizing that material, and revising, editing, and polishing the finished papers. 			◎	○	

1,2	Seminar in Modern Japanese History	This course will take the form of a directed readings seminar and thereby fulfill its first purpose of exposing students to many of the texts and issues that one should know about in order to teach modern Japanese history or to embark on independent research in the field. The second purpose of this course will be to place these works in historiographical context, comprehending the various perspectives individual historians have brought to their work and how their efforts relate to the larger field of modern Japanese historical studies.			◎	○	
1,2	Cultural Studies of Modern Japanese-European Relations	文明開化からの100年 — 日独の美術的な交流について英語で議論すること。			◎	○	
1,2	Seminar in the History of US-Japan Relation I	The primary purpose of this seminar is to examine in detail various aspects of the history of US-Japan relations, with the course's topic changing with the semester. Classes center on discussion of weekly readings of important secondary and primary sources and, consequently, students who complete these readings, think critically about them, and engage in discussion during class can be expected to emerge with a deeper understanding of the seminar's topic. Finally, because the course will be conducted in English, should significantly improve their ability in that language.			◎	○	
1,2	Seminar in the History of US-Japan Relation II	The primary purpose of this seminar is to examine in detail various aspects of the history of US-Japan relations, with the course's topic changing with the semester. Classes center on discussion of weekly readings of important secondary and primary sources and, consequently, students who complete these readings, think critically about them, and engage in discussion during class can be expected to emerge with a deeper understanding of the seminar's topic. This semester, we will consider the primary factors leading to Japan's surrender in 1945. Finally, because the course will be conducted in English, should significantly improve their ability in that language.			◎	○	
1,2	Edo Culture and the "Bad Places"	This seminar is discussion based and aims to improve the students ability formulate problems in academic texts.			◎	○	
1,2	Justice and the Vendetta Culture in Pre-modern Japan	This seminar is discussion based and aims to improve the students ability formulate problems in academic texts.			◎	○	
1,2	The Golden Age of the Heian Court	In general students will be expected to: * Read a wide range of primary and secondary sources critically. * Polish skills in critical thinking, including the ability to recognize the difference between opinion and evidence, and the ability to evaluate—and support or refute—arguments effectively. * Write stylistically appropriate and mature essays using processes that include discovering ideas and evidence, organizing that material, and revising, editing, and polishing the finished papers.			◎	○	
1,2	Gender & Family in Traditional Japan	A principal objective of the course is to teach students to think critically for themselves about the relationships between the past and the present, to learn to ask questions of the past that enable them to understand the present and mold the future, and to become attuned to both the limitations and possibilities of change. The course seeks to acquaint students with the ways in which past societies and peoples have defined the relationships between community and individual needs and goals, and between ethical norms and decision-making. In general students will be expected to: * read a wide range of sources critically. * polish skills in critical thinking, including the ability to recognize the difference between opinion and evidence, and the ability to evaluate—and support or refute—arguments effectively. * write stylistically appropriate and mature papers and essays using processes that include discovering ideas and evidence, organizing that material, and revising, editing, and polishing the finished papers.			◎	○	

1,2	What is History?	<p>A principal objective of the course is to teach students to think critically for themselves about the relationships between the past and the present, to learn to ask questions of the past that enable them to understand the present and mold the future, and to become attuned to both the limitations and possibilities of change. The course seeks to acquaint students with the ways in which past societies and peoples have defined the relationships between community and individual needs and goals, and between ethical norms and decision-making.</p> <p>In general students will be expected to:</p> <ul style="list-style-type: none"> * read a wide range of sources critically. * polish skills in critical thinking, including the ability to recognize the difference between opinion and evidence, and the ability to evaluate—and support or refute—arguments effectively. * write stylistically appropriate and mature papers and essays using processes that include discovering ideas and evidence, organizing that material, and revising, editing, and polishing the finished papers. 			◎	○	
1,2	Principles of Japanese to English Translation	<p>By the end of the course, students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> · develop the conceptual bases required to understand both the principles and recurrent issues and difficulties in professional translation · understand the fundamental communication issues in translation · understand the usefulness of research about translation · develop translation strategies and tactics and underlying norms, · understand sources of errors in translation · discuss links between practices and concepts in translation, and concepts and theories from cognitive psychology and psycholinguistics <p>In addition, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> · build Japanese (or English) language proficiency · expand knowledge of vocabulary and grammatical structures · improve reading and writing skills · develop critical thinking abilities, and · increase awareness and understanding of Japanese culture · experience the fun and charm of translation. 			◎	○	
1,2	Studies in Premodern Japanese History I	<p>The principal objectives of the course are to provide students with fundamental knowledge of the history of classical and medieval Japan, to teach students to think critically for themselves about the relationships between the past and the present, to learn to ask questions of the past that enable them to understand the present and mold the future, and to become attuned to both the limitations and possibilities of change. The course seeks to acquaint students with the ways in which past societies and peoples have defined the relationships between community and individual needs and goals, and between ethical norms and decision-making.</p>			◎	○	
1,2	Studies in Premodern Japanese History II	<p>The principal objectives of the course are to provide students with fundamental knowledge of the history of classical and medieval Japan, to teach students to think critically for themselves about the relationships between the past and the present, to learn to ask questions of the past that enable them to understand the present and mold the future, and to become attuned to both the limitations and possibilities of change. The course seeks to acquaint students with the ways in which past societies and peoples have defined the relationships between community and individual needs and goals, and between ethical norms and decision-making.</p>			◎	○	
1,2	Colloquium in Social Geography I	<p>This course has three major objectives:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Learning about the characteristics of inner city areas in Japan. 2) Understanding the history and recent changes of inner city areas in Japan. 3) Becoming familiar with the academic discourse about inner city areas, in reference to Japan. 			◎	○	

1, 2	社会地理学演習Ⅱ	本授業は主に3つの目標がある。 ①日本のインナーシティの特徴について勉強すること。 ②日本のインナーシティの歴史と最近の動きについて勉強すること。 ③日本のインナーシティに関するアカデミックな議論を勉強すること。			◎	○
1, 2	ヨーロッパ地誌	本授業の目的は3つである ① ヨーロッパの都市の歴史とその発展の基本的な知識を身に付けること ② 都市化を促進する原因とそれらが生み出す様々な都市の類型を学ぶこと ③ ヨーロッパの都市の主な特徴を学ぶこと			◎	○
1, 2	The Japanese Welfare State	This course has three major objectives: 1) Learning about homelessness and homeless policies in Japan. 2) Understanding changes the Japanese welfare state underwent through the topic of homelessness. 3) Learning about different approaches to this topic in the academic literature.			◎	○
1, 2	Seminar in Contemporary Japanese Social Theory I	This course has three major objectives: 1) Learning about the development of housing in postwar Japan 2) Learning about cities in postwar Japan 3) Deepening of research and presentation skills			◎	○
1, 2	Seminar in Contemporary Japanese Social Theory II	This course has three major objectives: 1) Learning about housing in post-growth Japan 2) Learning about cities in post-growth Japan 3) Deepening of research and presentation skills			◎	○
1, 2	日本語音声・音韻論	日本語の音声学の基礎的な知識を得る			◎	○
1, 2	日本語文法論Ⅰ	日本語学・日本語教育の修士論文を書くために十分な日本語文法についての知識を、体系的に修得すること。			◎	○
1, 2	日本語文法論Ⅱ	日本語学・日本語教育の修士論文を書くために十分な日本語文法についての知識を、体系的に修得すること。			◎	○
1, 2	日本語教育学Ⅰ	修士論文を完成することを最低限の目標とする。			◎	○
1, 2	日本語教育学Ⅱ	修士論文を完成することを最低限の目標とする。			◎	○
1, 2	日本語教育演習Ⅰ	実践へ向けた日本語教育の基礎知識を獲得する。			◎	○
1, 2	日本語教育演習Ⅱ	模擬授業を行って、日本語教育の実技能力を獲得する。			◎	○
1, 2	日本語表現論Ⅰ	日本語表現の多様性を探究する。			◎	○
1, 2	日本語表現論Ⅱ	日本語表現の多様性を探究する。			◎	○
1, 2	日本語教育と言語政策Ⅰ	日本語教育に関連する社会言語学的研究および言語政策研究の基礎となる社会言語学の全体像およびその基本的な概念について理解できるようになる。			◎	○
1, 2	日本語教育と言語政策Ⅱ	日本語教育を取り巻く環境や現象について理解し、日本語教育およびその関連領域を多角的に考察できるようになることを目指す。			◎	○
1, 2	日本語教育と言語政策Ⅲ	日本語教育に関連する社会言語学的研究および言語政策研究の基礎となる社会言語学の全体像およびその基本的な概念について理解できるようになる。			◎	○
1, 2	日本語教育と言語政策Ⅳ	日本語教育を取り巻く環境や現象について理解し、日本語教育およびその関連領域を多角的に考察できるようになることを目指す。			◎	○
1, 2	日本語音声教育方法論	1) 日本語の音声・音韻の基礎的な概念を理解する。 2) 日本語教育現場を想定し、日本語音声教育方法を実践し、その内容を理解するとともに改善点や工夫を自ら作ることができる。			◎	○
1, 2	日韓文化交流史Ⅰ	隣国である韓国との文化交流の現状と歴史的理解を深めるとともに韓国文化に対する知見を確かにする。とくに相互理解のズレ把握に努め、隣国認識の知的土台を構築できる専門的知識とその応用能力を修得する。			◎	○
1, 2	日韓文化交流史Ⅱ	隣国である韓国との文化交流に対する歴史的理解を深めるとともに韓国文化に対する知見を確かにする。とくに相互理解のズレ把握に努め、隣国認識の知的土台を構築する。			◎	○
1, 2	日韓文化交流史Ⅲ	隣国である韓国との文化交流の現状と歴史的理解を深めるとともに韓国文化に対する知見を確かにする。とくに相互理解のズレ把握に努め、隣国認識の知的土台を構築する。			◎	○
1, 2	日韓文化交流史Ⅳ	隣国である韓国との文化交流の現状と歴史的理解を深めるとともに韓国文化に対する知見を確かにする。とくに相互理解のズレ把握に努め、隣国認識の知的土台を構築する。			◎	○
1, 2	中国近現代文化論Ⅰ	艾未未の芸術活動を通じて、文化大革命以降の中国現代文化の流れを把握する。現代アートの持つ社会批判性を理解する。			◎	○
1, 2	中国近現代文化論Ⅱ	中国現代アート研究を深める。			◎	○
1, 2	アジア近現代史Ⅰ	中国近現代史を題材に、修士論文を書くための基礎的な知識と能力を身につける。			◎	○
1, 2	アジア近現代史Ⅱ	中国近現代史・日中関係史に関する文献の読解能力および理解力を身につける。			◎	○
1, 2	アジア近現代史Ⅲ	中国近現代史を題材に、修士論文を書くための基礎的な知識と能力を身につける。			◎	○
1, 2	中国思想Ⅰ	『墨子』および先秦思想史の理解を深める			◎	○
1, 2	中国思想Ⅱ	先秦思想史・文献学・漢文訓読・現代中国語・古文字学を学ぶ			◎	○

1, 2	Governance and Development in Asia and Africa	<p>Through the analysis of several cases, students are expected to broaden their perspectives on governance, politics and development. Particularly, students are expected to:</p> <ol style="list-style-type: none"> Understand potential relationship between diverse governance and diverse economic development performance; Critically grasp key issues such as good governance, democracy and democratisation, authoritarianism, corruption, neo-patrimonialism, and developmental states; Develop your own constructive views how politics and governance in other developing countries could promote their development; and Ultimately output effective presentations and essays on governance and development. 				◎	○
1, 2	Population Change and Migration in Asia	Understanding various international migration to Japan and their backgrounds				◎	○
1, 2	Contemporary Art and Media in Australia and Asia I	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania				◎	○
1, 2	Contemporary Art and Media in Australia and Asia II	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia and Australia				◎	○
1, 2	Contemporary Art and Media in Australia and Asia III	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia and Australia				◎	○
1, 2	国際日本アジア文化研究	The primary objective of the class is to familiarize students with the major topics in Japanese literature, and the corpus of English-language scholarship thereon. Secondly, the class seeks to foster critical reading and analysis skills, and help lay the groundwork for students to conduct their own research.				◎	○
1, 2	日本経済の構造	マクロ経済学、ミクロ経済学、金融論などで履修する内容を、実際に過去の日本経済、財政、金融システム、金融市場などの動きにあてはめ、1980年代半ば以降の日本金融経済の動態や構造変化を体系的に理解する。その上で、その知見を、日本経済が抱える課題の解決や今後の進むべき方向性について考える際のヒントとして役立てる。				◎	
1, 2	日本の労働経済	日本的雇用システムに関するテキストを例に理論的・実証的に検討する力を身につけ、自らの修士論文執筆に役立ててほしい。				◎	
1, 2	アジアの産業連関分析	IO分析の基本知識を習得し、興味のある国のIO分析ができるようになる。				◎	
1, 2	アジアの経済政策	アジアの経済政策の課題を自ら発見しその対応策を考察できる力や政策をめぐる議論を客観的に評価できる力を身に付ける。				◎	
1, 2	日本の社会保障	現代社会に生きる私たちの生活を支える社会保障制度の仕組みを理解し、今後の社会保障制度の在り方について主体的に考える。				◎	
1, 2	アジアにおける経済社会開発	アジアの経済の実態とダイナミクスを理論的・実証的に理解する。その上で、アジア各国、地域が直面する様々な諸課題を検討し、今後のアジア、また日本と各国との関係について、考察を深める。				◎	
1, 2	アジアの経済発展	途上国経済を理論的に把握する。貧困の悪循環という概念を明確にし、経済成長のメカニズムを理解する。途上国の二重経済モデルを1つのシステムとして理解し、都市部と農村部間の労働移動のメカニズムを、ハリス＝トダロー・モデルを通じて理解できる。				◎	
1, 2	アジアの都市計画	都市が抱える諸問題とその流れを理解し、都市の持続的発展に向けた問題解決を考える力を身につけることができる。				◎	
1, 2	日本の地方財政	履修者が日本の地方財政に関する知識を習得し、地方財政に関する様々な問題について考えることができるようになることを到達目標とします。				◎	
1, 2	日本の憲政と憲法	現代における憲法問題を自ら発見し、それに関する判例学説を適切に参照し、憲法学の論理に従って自ら解決策を提案できること。				◎	
1, 2	日本の地方自治	自治の思想と理念、制度を理解し、日本における自治現象を分析できるようになる。				◎	
1, 2	日本における土地利用と法	日本の土地制度について正確に理解した上で、農地制度上の問題点について、検討し、自分の考えを示すことができるようになること。				◎	
1, 2	日本政治史	文献を読解し、自分の考えをもち、人と議論する力を身につける。				◎	
1, 2	国際取引と法	国際私法の基本概念及び仕組みを正確に理解し、国際契約の論点について概略を掴むこと。				◎	
1, 2	Money, Banking and Financial Markets	In this course, students will study how financial markets and institutions work, and the role they play in the economy.				◎	
1, 2	Japanese Economy	To learn the basic knowledge on the theme above, and have own thoughts and opinions for the challenges Japan faces and future directions we should take.				◎	

1, 2	Public Finance and Socioeconomic Development in Japan	Students who successfully participated in the course will be able to demonstrate a theoretical and factual understanding of social policy development in Japan and discuss its applicability and implications to different temporal and country contexts.			◎		
1, 2	Asian Economy	1) To understand the basic structure and dynamics of Asian Economies. 2) To understand the actual situation of Asian Economy theoretically and empirically. 3) To understand challenges and dilemma of globalizing Asia			◎		
1, 2	Economic Policies in Japan and Asia	Acquiring the capacity to understand the pathway of economic development, policies and challenges in Japan and East Asia as well as theoretical backgrounds on the development of the region			◎		
1, 2	Economic Strategies in Japan and Asia	To acquire the capacity to understand the theoretical backgrounds of economic policies in Japan and Asia, and to evaluate their performances			◎		
1, 2	International Trade in Japan and Asia	A course which will enable students to understand both the basic theories and practical issues surrounding trade issues and relationships in the region (Asia). This should prepare students for more advanced courses or to start a dissertation in applied topics.			◎		
1, 2	International Economic Theory	intermediate understanding of theories and what this means for trade policies			◎		
1, 2	Microfinance and Development	Nearly half of the working-age population in the world are excluded from formal financial services. This presents serious bottlenecks against consumption smoothing, preparedness for unexpected disruptions, preparatory investments for the future, household income uplifting, economic growth, poverty reduction, equality and justice, solutions of development issues in other sectors, etc. All mankind has the right of accessing to and using inexpensive and reliable financial services, and for achieving this purpose of financial inclusion, it is indispensable to make financial services financially/manegerially sustainable and reachable to all including the poor, as socially responsible private businesses. You are expected to learn and discuss cutting-edge, market-based practices, including necessary public policies to be implemented, appropriate market development measures, and the roles of various market players, among others.			◎		
1, 2	Economic Development in Asia	This class has some targets. One target is to understand the differences between the Harrod-Domar and the neoclassical growth models ,and the meanings of stability condition, in the field of economic growth theory. Another one is to understand a mechanism of migration between the rural and urban areas, which is, so called the Harris-Todaro model. The final goal is to understand the existence of the rural-urban wage gap using the labor turnover model by J. Stiglitz.			◎		
1, 2	Public Policies in Japan and Asia	Students will be able to understand the current situation and problems of public policy issues in Asia and Japan			◎		
1, 2	Advanced Theory of Public Policies	Students will be able to understand advanced theory of public policies in English, including current global topics.			◎		
1, 2	Advanced Econometrics	Successful attendants will acquire basic knowledge in theory and methods of time series analysis, as well as the skills in numerical calculation using R.			◎		
1, 2	日本のマーケティング	市場の商品・サービスに対して、自ら問題を見つけ、仮説を立案し、それを実証することができる。			◎		
1, 2	日本企業のケーススタディ	様々な時代の日本の企業経営に関する文献を読み込んだ上で、様々な視点からディスカッションを行うことを通じて、企業経営を多面的に理解する能力を養う。			◎		
1, 2	日本企業の経営管理	生産財メーカーはどのような戦略とビジネスモデルを実行することにより利益を獲得しているのかについて理解させる。			◎		
1, 2	日本企業の管理会計	日本企業が提案・活用している管理会計システムであるアメーバ経営について、自分なりの知識を得る。			◎		
1, 2	アジアにおける日本企業	受講生は、アジアにおけるマーケティング戦略について基本的な知識を得るとともに、アジアに進出する日本企業の強みや弱み、展開可能性について洞察できるようになる。 将来、企業の国際業務担当者や、中小企業の海外進出を支援する機関、アジアの市場・企業を分析する研究者となる者にも有意義な授業内容を提供する。			◎		
1, 2	日本の雇用関係	日本の雇用システムを正しく理解するために必要な理論と実態を学習し、各自の論文作成に応用する。			◎		

1, 2	国際経営論	受講者が、国際経営に関する英文のケース（論文等）を分析することによって、ケース（論文等）の論理の流れや分析方法を理解し、国際経営の理論と実践を理解することを目標とする。			◎		
1, 2	経営組織論	本授業の目標は、経営組織論の諸学説を古典から最新の議論まで理解することであり、授業では、経営学の発生から近年まで時代順に経営組織論の主要学説を解説します。博士前期課程の大学院生として基本的な理論的知識の習得を最終的な目標とします。よって、基本的学説から応用学説まで幅広く扱う内容となっています。授業の方法は、担当者の解説講義を中心に行います。			◎		
1, 2	国際マーケティング論	グローバル・マーケティング分野に関し、主要な応用的分野の専門知識を習得する。また、自ら問題を設定し、自ら問題解決を行いうる能力、およびその成果を理論的な文章にまとめ発表する能力を育む。 また、論理的・批判的思考力、情報収集能力、根拠に基づいた分析力、自らの主張や意見を形成し、発信する能力を習得することを目標とする。 具体的には以下である。 〔1〕企業の世界展開のために行っている自身の経営資源と、自社が世界において直面する外部環境を見極めた上で、どの市場を標的とし、どのような方法で参入するのかということを理解し、企業が配置した拠点間の連携（グローバル統合・調整）を行っていくことに関する基本的概念を説明できるようにすること。 〔2〕本授業では今日の企業のグローバルなマーケティング活動を考察し、そこから実践的な諸課題について自ら考察できるようにすることを授業の到達目標とする。			◎		
1, 2	Global Business Strategy	After completing this course, the students should be able to think logically and provide effective solutions and recommendations to business challenges from a truly global strategic perspective.			◎		
1, 2	Global Business in Japan and Asia	This course aims to strengthen the students' ability in logical and critical thinking, and problem solving, taking into account business ethics, from a truly global strategic perspective by employing the context of Japanese enterprises doing business in Asia and globally.			◎		
1, 2	Comparative Studies of Management	This course aims to strengthen the student's ability in logical and critical thinking, and business problem solving, taking into consideration business ethics, from a truly global strategic perspective.			◎		
1, 2	Japanese Enterprises in Asia	(1) Participants will be able to have better understanding on: - past strategy and marketing of Japanese enterprises in Asia - Asian business with comparative viewpoint with Japan (2) Participants will be able to have clue with more advanced research on strategy and marketing in Asia			◎		
1, 2	Human Resource Management in Japan and Asia	1. To develop depth and breadth of theoretical and practical knowledge in the area of HRM 2. To become more observant and knowledgeable of the HRM practices of Asian firms and their implications, as well as broader employment and labor-related issues in the Asia 3. To develop a capacity to conduct cross-national comparisons in terms of multi-level factors that influence HRM policies and practices and analyze the key challenges facing HRM in Asian countries from diverse theoretical perspectives. 4. To lay the ground work (both empirically and theoretically) for your thesis. 5. To collaborate with diverse classmates to extend your knowledge of HR and develop research ideas			◎		
1, 2	Japanese-style Management	1. To develop depth and breadth of theoretical and practical knowledge in the area of HRM 2. To become more observant of the HRM practices of Japanese firms and more attentive to employment and labor-related issues in the media 3. To collaborate with diverse classmates to integrate their knowledge of HR with various applications in actual and hypothetical organizations. 4. To analyze and critique HR problems from diverse perspectives and discuss workplace issues and their consequences with others 5. To develop a capacity to integrate learning from diverse sources to enhance the likelihood of finding great work environments and opportunities for achievement and contribution.			◎		
1, 2	Marketing in Japan and Asia	Find problems, formulate hypotheses, and prove them for products and services in the market.			◎		

1, 2	Supply Chain Management	With increasing competition around the globe, supply chain management is both a challenge and an opportunity for companies. Hence a strong understanding of supply chain management concepts and the ability to recommend improvements should be in the toolbox of all managers. The objective of this course is to introduce you to the key concepts and techniques that will allow you to analyze, manage and improve supply chain processes. At completion of this course, you will have the skills to assess supply chain performance and make recommendations to increase supply chain competitiveness.			◎	
1, 2	Diffusion Studies	To obtain insight of diffusion (incl. mechanism, technique, and social impacts) vis-a-vis social changes.			◎	
1, 2	Global Environment and Asia	1. To understand basic knowledge in environmental and natural resource economics (ENRE). 2. To learn how to apply your interest in the problems of the Asia-Pacific region to build a research project using the method in ENRE.			◎	
1, 2	Urban Planning in Japan and Asia	To get to have an opinion about city issues.			◎	
1, 2	International Marketing	This course aims to strengthen the students ability in logical and critical thinking, and problem solving. This lecture is designed to have students understand the Global Marketing of Japanese companies. It adopts an interdisciplinary perspective in understanding the major issues of international marketing within the context of global markets. The course analyzes marketing strategies of successful concurrent multinational companies, with a focus on environmental analysis; foreign market evaluation and selection; and market entry modes. The course highlights various marketing issues related to the emerging markets.			◎	
1, 2	Advanced Research in Japanese Society	By the end of this course you should be able to analyze present-day Japanese society and critically reflect on current social issues in Japan.			◎	
1, 2	言語メディア論	Webスクレイピングを用いて得たデータを元に、テキストマイニングの基本的な手法（ワードクラウドや、単語頻度の類似性に基くクラスタリングなど）による文書の分類などが行なう手法の習得。			◎	
1, 2	労働経済論	日本的雇用システムに関するテキストを例に理論的・実証的に検討する力を身につけ、自らの修士論文執筆に役立ててほしい。			◎	
1, 2	日本経済総論	マクロ経済学、ミクロ経済学、金融論などで履修する内容を、実際に過去の日本経済、財政、金融政策、金融システム、金融市場などの展開にあてはめ、1980年代半ば以降の日本金融経済の動態や構造変化を体系的に理解する。その上で、得られた知見を、日本経済が抱える課題の解決や今後の進むべき方向性について考える際のヒントとして役立てる。			◎	
1, 2	産業連関分析	本講義では、I-O分析の理論を把握し、その多面的応用を検討することによって、I-O分析への理解を深める。			◎	
1, 2	金融論	金融市場・金融機関に関する基礎知識を習得し、それに基づき金融に関して論ぜられるようになることを目標とします。			◎	
1, 2	金融工学への入門	実解析を使いこなせるようになる。			◎	
1, 2	証券分析論	証券分析の研究で使用される分析手法を習得する。また、実際の金融データ（株価指数・個別株など）を用いて分析を行う。データはこちらで準備します。			◎	
1, 2	経済政策論	日本経済の現状分析の手法、注目すべき指標等が何かを理解するとともに、日本の経済財政政策の決定過程を学ぶ。また東南アジアの経済発展のポイントについても習得する。			◎	
1, 2	日本経済史	近代以降の日本経済のあゆみや経済発展の特徴について理解を深める。			◎	
1, 2	国際経済論	国際経済学の基礎的な理論の理解を基に、主要国の経済動向と政策課題に加えて、グローバル経済を動かす貿易や投資等についての理解を深めることを目標とする。			◎	
1, 2	経営管理論	生産財メーカーはどのような戦略とビジネスモデルを実行することにより利益を獲得しているのかについて理解させる。			◎	
1, 2	経営戦略論	経営戦略論の先端の研究を知り、研究能力を高め、専門的な研究と経営実践のための知識と思考能力を身に付ける。一般的に流通している経営戦略のイメージとは違う、アカデミックな観点から経営戦略論を考えられるようになる。			◎	
1, 2	生産システム論	生産管理や生産システムに関する基本的概念を理解し、現代の新しい問題を分析できること。			◎	

1, 2	マーケティング論	市場の商品・サービスに対して、消費者の購入意向・支払意思額・推奨意向を高めるために、解決されていない問題を見つけ、仮説を立案し、それを実証することができる。			◎		
1, 2	サプライチェーン・マネジメント	・SCMIに関する基礎理論を修得する。 ・ケーススタディを通して、企業がどのようにSCMをおこなっているか、そしてどのようにSCMを通して競争優位を築いたのかについて理解する。 ・学んだ知識を用いて、SCMの視点から身近な経済現象を分析する能力を養成する。			◎		
1, 2	雇用関係論	日本の雇用システムを正しく理解するために必要な理論と実態を学習し、各自の論文作成に応用する。			◎		
1, 2	経営財務論	本講義の目標は、企業金融論に関する基礎的な知識を習得することにあります。具体的には、赤字主体としての企業の立場から資金調達や投資、利益の分配などの意思決定を学びます。			◎		
1, 2	国際経営論	受講者が、国際経営に関する英文のケース（論文等）を分析することによって、ケース（論文等）の論理の流れや分析方法を理解し、国際経営の理論と実践を理解することを目標とする。			◎		
1, 2	比較経営論	アジアの企業経営について知識を得るとともに、アジアにおけるマーケティングについて進んだ知識を獲得する。 アジアの企業・市場を研究する研究者および企業の国際業務担当者として、本講義で得た知見を生かす。			◎		
1, 2	日本経営史	様々な時代の日本の企業経営に関する文献を読み込んだ上で、企業経営について議論する力を身につける。			◎		
1, 2	経営組織論	本授業の目標は、経営組織論の諸学説を古典から最新の議論まで理解することにあります。授業では、経営学の発生から近年まで時代順に経営組織論の主要学説を解説します。博士前期課程の大学院生として基本的な理論的知識の習得を最終的な目標とします。よって、基本的学説から応用学説まで幅広く扱う内容となっています。授業の方法は、担当者の解説講義を中心に行います。			◎		
1, 2	マネジメント・コントロール・システム	マネジメント・コントロールについて自分なりの見識を得る。			◎		
1, 2	コーポレートガバナンスと法	株式会社等における会社統治やファイナンスにかんして、その仕組みを理解して、基本的な知識を身につけること。会社法上の問題についてその法的解決の方法を考える力を養うこと。			◎		
1, 2	コーポレートガバナンスと会計	本講義では、会計情報の利用者と経営陣の利害の違いを意識しながら、現代の財務会計を取り巻く経済社会や環境を理解することを目的とする。 まず最初に情報利用者と経営陣のあいだに情報の非対称性が存在しない理想的な状況における会計を分析する。その後、情報の非対称性が生み出す逆選択（逆選抜）の問題をコントロールするうえで財務会計がどのように役立つかを理解するために、意思決定有用生アプローチ（合理的な会計情報の利用者にとって有用な情報を報告するという考え方）について学習する。最後に、財務報告をどのように利用することで、情報の非対称性の問題がもたらすモラル・ハザードの問題を軽減できるかについて学習する。			◎		
1, 2	財政学	労働政策、社会保険制度、生活保護制度といった政策・制度と、社会的排除、貧困、格差と平等といった社会的現実との関係を検討することにより、財政問題と直接・間接に結びつく領域についての洞察を深める。			◎		
1, 2	地方財政論	履修者が地方財政に関する様々な問題について考えることができるようになることを到達目標とする。			◎		
1, 2	政治経済学	政治経済学の基礎理論を理解する。			◎		
1, 2	上級政治経済学	政治経済学に関する学術論文を執筆する			◎		
1, 2	経済学史	(1) 古典の正確な読解方法を習得する。 (2) 資本主義社会の確立期の時代状況を理解する。 (3) 疑問点を平明にまとめる能力を身につける。			◎		
1, 2	公共政策	社会安全政策を中心に、我が国の公共政策策定のプロセスを理解する。			◎		
1, 2	行政法理論	授業が終了したときに、みなさんが以下の知識や能力を身に付けることを目標にします。 ① 行政が普段どのような活動をしており、私たちの生活や企業活動にどのような役割を果たしているか、具体的な例をあげて説明できるようになる。 ② 行政のさまざまな活動がいかなる法に基づいて行われているか、具体的な例をあげて説明できるようになる。また、そのような行政活動にかかわるさまざまな法に共通するしくみについて理解し、説明できるようになる。 ③ 行政法に関する基礎的な知識を身につけることで、下記の参考書を使いながら自分でさらに深めた学習ができるようになる。			◎		
1, 2	地方自治論	自治の思想と理念、制度を理解し、自治現象を分析できるようになる。			◎		
1, 2	社会保障論	現代社会に生きる私たちの生活を支える社会保障制度の仕組みを理解し、今後の社会保障制度の在り方について主体的に考える。			◎		

1, 2	環境政策論	1. 国際レベルの環境政策の研究動向を自分で調べられるようになる。 2. 国際レベルの環境政策の分野の研究論文を読めるようになる。 3. 国際レベルの環境政策について自分で研究テーマを定めて研究を進めていく力を養う。			◎	
1, 2	都市計画論	都市が抱える諸問題とその流れを理解し、都市の持続的発展に向けた問題解決を考える力を身につけることができる。			◎	
1, 2	憲法	現代における憲法問題を自ら発見し、それに関する判例学説を適切に参照し、憲法学の論理に従って自ら解決策を提案できること。			◎	
1, 2	経済法	独占禁止法をめぐる法的問題を整理し、関連事例をとりあげながら、課題の考察を行う			◎	
1, 2	土地利用と法	土地制度の現代的課題について正確に理解し、自分の考えを示すことができるようになること。			◎	
1	演習 I	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1	演習 II	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	演習 III	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	演習 IV	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	演習 V	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	演習 VI	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1	Seminar I	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1	Seminar II	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	Seminar III	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	Seminar IV	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	Seminar V	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎
1, 2	Seminar VI	基本的な研究姿勢をまなぶ			○	◎